

令和 6 年 5 月 17 日現在

機関番号：32728

研究種目：若手研究

研究期間：2019～2023

課題番号：19K19768

研究課題名（和文）コートジボワール住民のヘルスリテラシーと高血圧・肥満の知識・意識・行動の実態

研究課題名（英文）The Health Literacy, Knowledge, Awareness, and Behaviors Related to Hypertension and Obesity Among Residents of Cote d'Ivoire

研究代表者

碓井 瑠衣 (USUI, Rui)

湘南医療大学・臨床医学研究所・客員研究員

研究者番号：80805549

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,300,000円

研究成果の概要（和文）：コートジボワール国アビジャンの市場商人の肥満とヘルスリテラシーの実態を明らかにすることを目的とし、A市場にて悉皆調査を行った。調査では身長・体重測定、および体重に対する認識、体重管理のための行動について質問した。またヘルスリテラシーの測定は、Health Literacy Questionnaire（以下HLQ）を使用した。

結果は対象市場の女性商人823人中、肥満者は30%であり、そのうち体重を過小評価している者は82%であった。肥満であることとHLQの9領域のうち2領域が関連していることが示された。また肥満者は正しい体重認識がないこと、食事を3回以上/日摂取していないことが明らかになった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究の学術的意義は、アビジャン商人の肥満の現状およびヘルスリテラシー（HLQ）の2領域との関連を明らかにし、肥満と体重認識と食事習慣との関連を再確認したことにある。社会的意義としては、本研究成果はアビジャンにおける肥満対策、延いては非感染性疾病対策へ知見の提供をすることができる。特に市場商人は同国の働く女性の半数を占めることから、女性の健康増進プログラムを検討する際の貢献が期待できる。

研究成果の概要（英文）：To investigate the prevalence of obesity and health literacy among market merchants in Abidjan, Cote d'Ivoire, a complete enumeration survey was conducted in Market A. The survey included measurements of height and body weight, as well as questions regarding weight perception and behaviors for weight management. Health literacy was assessed using the Health Literacy Questionnaire (HLQ).

Results showed that among the 823 female merchants in the target market, 30% were obese, and of these, 82% underestimated their weight. It was demonstrated that obesity was associated with two out of the nine HLQ domains. Additionally, it was revealed that obese individuals lacked accurate weight perception and did not consume meals more than three times a day.

研究分野：国際保健

キーワード：肥満 コートジボワール ヘルスリテラシー 非感染性疾病

## 1. 研究開始当初の背景

世界の死因第一位である非感染性疾患（以下 NCDs）<sup>1</sup> は西アフリカのコートジボワールにおいても死因の 31% を占め健康課題の一つとなっている<sup>2</sup>。同国最大の都市アビジャンでは、2005 年の NCDs に関する調査 STEPS により、高血圧と肥満・過体重の 2 つをはじめとする NCDs リスクが極めて高いことが警告された<sup>3</sup>。国は国家戦略として NCDs 予防・治療のための計画立案 [DGS/MSLCS 2015] を行ったが、特に予防に関してはその実施状況や成果の報告は見当たらず、その後の実態調査も行われていない。そのため、当初は高血圧と肥満の 2 つの疾患を対象とし、アビジャン住民の疾患の実態とヘルスリテラシーおよび疾患に対する知識・認識・行動を明らかにすることを目的とした。その後研究代表者がアビジャンへ渡航し、フィールドの状況を再分析したところ、現地での健康政策の実施においては、各疾患別のプログラムを立て戦略を立てていること、高血圧と肥満では健康課題を抱える対象者が必ずしも一致しないことなどから、肥満を対象疾患とすることとした。肥満を選択した理由としては、肥満を改善することで高血圧の改善にもつながること、容易に測定が可能な体重を指標に健康プログラムを実施できることから、肥満に焦点をあてることとした。

## 2. 研究の目的

本研究ではアビジャンにおける肥満対策への貢献を目指し、肥満とヘルスリテラシー、及び体重認識との関係について明らかにすることを目的とする。

## 3. 研究の方法

アビジャン内の代表的な中規模市場である A 市場を選択し、悉皆調査を行った。対象者は身体測定（身長、体重）および対面式の構造化インタビューによる質問紙調査を受けた。インタビュー内容は、社会的属性項目（年齢、民族、家族人数、学歴、収入、婚姻歴、出産歴等）、体重認識に関する項目（「自身は痩せ、普通、過体重、肥満のどれに当てはまるか」の答え、体重増減希望、体重増減希望の理由）、体重管理に関する項目（体重管理のための行動、前日の食事回数、前回の体重測定理由/場所、体重測定回数、前回の測定体重）についてとし、いずれも選択式の単回答とした。社会的属性項目は同国アビジャンで実施された WHO の STEPwise approach to surveillance (STEPS)<sup>4</sup> の項目を使用した。HL に関しては、Health Literacy Questionnaire (HLQ) の仏語版<sup>5, 6, 7</sup>を使用した。収集したデータは、肥満と HLQ および体重認識・管理に関する項目との関連について評価するため、多重ロジスティック回帰分析を行い、調整オッズ比とその 95% 信頼区間を算出した。有意水準は  $p < 0.05$  とした。

## 4. 研究成果

結果は対象市場の女性商人においては、肥満者は 30%、過体重は 47% と 7 割以上が過体重・肥満であった。体重を過小評価している者は肥満者では 82% であった。分析の結果、肥満であることと HLQ の 9 領域のうち 2 領域が関連していることが示された。また肥満者は正しい体重認識がないこと、食事を 3 回以上/日摂取していないことが明らかになった。

## 参考文献：

1. WHO. *GLOBAL STATUS REPORT on noncommunicable diseases 2014* 2014.
2. WHO. *-Noncommunicable Diseases (NCD) Country Profiles*. 2014. [http://www.who.int/nmh/countries/civ\\_en.pdf?ua=1](http://www.who.int/nmh/countries/civ_en.pdf?ua=1)
3. STEPS/MNT Ddcdp. *ENQUETE SUR LES FACTEURS DE RISQUE DES MALADIES NON TRANSMISSIBLES Côte d'Ivoire - 2005*  
Régions sanitaires des Lagunes RAPPORT D'ENQUETE. 2005;
4. Direction de coordination du programme STEPS/MNT. *ENQUETE SUR LES FACTEURS DE RISQUE DES MALADIES NON TRANSMISSIBLES Côte d'Ivoire - 2005*.  
Régions sanitaires des Lagunes RAPPORT D'ENQUETE. 2005. WHO の STEP Sight  
<http://www.who.int/teams/noncommunicable-diseases/surveillance/data/c%3CB4te-d->

[ivoire](#)

5. Osborne RH, Batterham RW, Elsworth GR, Hawkins M, Buchbinder R. The grounded psychometric development and initial validation of the Health Literacy Questionnaire (HLQ). *BMC public health*. Jul 16 2013;13:658. doi: 10.1186/1471-2458-13-658
6. Debussche X, Lenclume V, Balcou-Debussche M, et al. Characterisation of health literacy strengths and weaknesses among people at metabolic and cardiovascular risk: Validity testing of the Health Literacy Questionnaire. *SAGE open medicine*. 2018;6
7. Ousseine YM, Rouquette A, Bouhnik AD, et al. Validation of the French version of the Functional, Communicative and Critical Health Literacy scale (FCCHL). *Journal of patient-reported outcomes*. 2017;2(1):3. doi: 10.1186/s41687-018-0027-8

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計2件（うち査読付論文 2件/うち国際共著 1件/うちオープンアクセス 2件）

1. 著者名 Rui Usui, Shogo Kanamori, Maki Aomori, Setsuko Watabe	4. 巻 13(3)
2. 論文標題 Analysis of COVID-19 mortality in patients with comorbidities in Cote d'Ivoire	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Public Health in Africa	6. 最初と最後の頁 1748
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.4081/jphia.2022.1748	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Rui Usui, Maki Aomori, Shogo Kanamori, Sehi Bi Tra Jamal, and Setsuko Watabe.	4. 巻 -
2. 論文標題 Association of Obesity with Health Literacy and Weight Perception among Women Merchants in Abidjan, Cote d'Ivoire: A Cross-Sectional Study.	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Health literacy Research and Practice	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

〔学会発表〕 計2件（うち招待講演 0件/うち国際学会 0件）

1. 発表者名 碓井瑠衣、青盛真紀、金森将吾、渡部節子
2. 発表標題 コートジボワール国アビジャン自治区市場商人の過体重・肥満の実態と認識
3. 学会等名 第5回日本国際看護学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 碓井瑠衣、金森将吾、青盛真紀、渡部節子
2. 発表標題 コートジボワール国におけるCOVID-19死亡者の併存症の分析
3. 学会等名 グローバルヘルス合同大会2020
4. 発表年 2020年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------